

ソテツのカイガラムシ被害

大島地区において、海外でソテツの害虫として知られているカイガラムシ (*Aulacaspis yasumatsui*) の被害が拡大しています。急激な増殖、分布拡大が懸念されますので、早急な対応が必要です。

被害の特徴

- ✓ 葉や幹に白いカイガラムシが多数付着。
- ✓ カイガラムシに吸汁され、ソテツの葉が黄化。
- ✓ 激害葉では、覆い尽くすようにカイガラムシが付着し、葉は黄白色に。
- ✓ カイガラムシは幹や芽の部分にも生息。
- ✓ 激害が続くと、枯死する可能性もある。
- ✓ 文献によると地下 60cm の根にも生息。

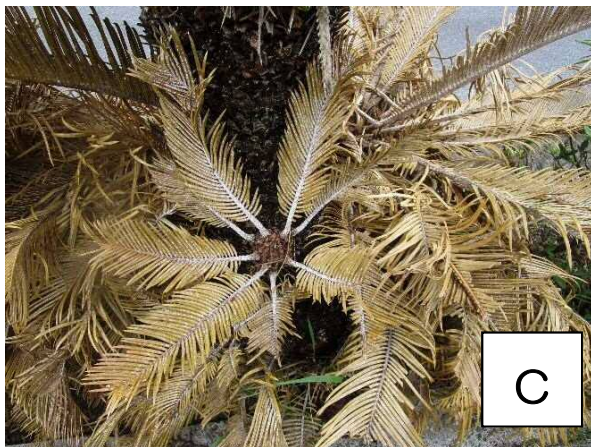
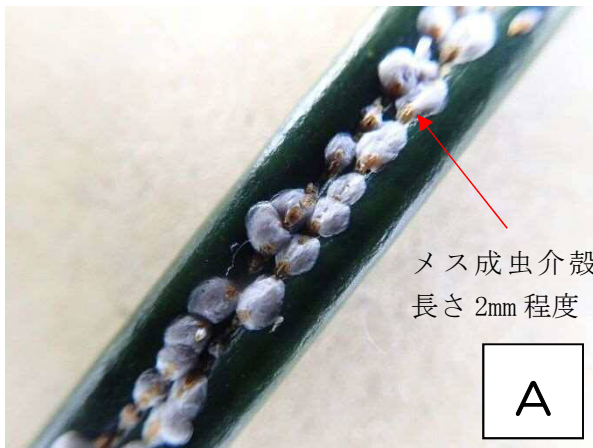


写真 A~C : 大島支庁林務水産課 提供

対 策

- ✓ **被害葉は切り落として処分。**
 - ・ 焼却できる場合は、現地もしくは焼却施設等で焼却。
 - ・ 焼却できない場合は、ビニール袋などに入れてゴミとして出す。
 - ・ 焼却施設等へ移動の際は、カイガラムシが飛散しないようビニール袋などに入れる。
- ✓ 被害葉を切った後、**幹や葉柄切り口など、樹体全体に薬剤を散布。**幹の隙間や切り取った葉の基部などにも多数生息しているので、念入りに。
- ✓ 薬剤散布後も、こまめに観察。生き残りの他、根からの移動等により新たにカイガラムシが付着する可能性があるため、発見次第、適宜追加散布を行う。
- ✓ **被害地周辺については、健全なソテツも冬季には剪定を行う**（寄生場所を減らす。また、新芽の季節に被害に気がつきやすくなる）。
- ✓ 一般に、カイガラムシは風による飛散や人の衣服などに付着して運ばれ分布を拡大するので、被害木処理の際は服装に付着しないよう注意が必要。

主な登録薬剤

(令和4年12月8日現在)

農薬名	希釈倍数	使用方法	使用時期	使用回数
クミアイアタックオイル（マシン油乳剤）	100倍	散布	-	-
エアータック乳剤（マシン油乳剤）	100倍	散布	-	-
ラビサンスプレー（マシン油乳剤）	100～200倍	散布	夏期	-
マツグリーン液剤2	250倍	散布	発生初期	5回以内
アプロードフロアブル	1000倍	散布	-	6回以内
カルホス乳剤	1000倍	散布	発生初期	6回以内

ソテツの本数が少ない場合は、希釈不要のスプレータイプも便利です。

農薬名	希釈倍数	使用方法	使用時期	使用回数
カイガラムシエアゾール	-	噴射	-	4回以内
ボルン（マシン油）	-	噴射	-	-
ベニカXネクストスプレー	原液	散布	発生初期	6回以内
ベニカJスプレー	原液	散布	発生初期	6回以内
ベニカXファインスプレー	原液	散布	発生初期	5回以内

- ・ マシン油は、油膜が虫を覆い窒息させて殺虫します。環境への負荷が少ない一方、効果は弱めです。こまめな観察を行い、適宜追加散布を行ってください。
- ・ **薬剤を使用した木（実も含む）については、食用に用いることはできません。**
- ・ **農薬の使用に当たっては、容器のラベルに記されている注意事項を守ってください。**

令和4年12月8日更新
鹿児島県森林技術総合センター